

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスあおぞら
------	----------------

公表日 2025年1月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	11	他部署の部屋や、公園・市内の施設を利用し、様々なプログラムに対応しています。	クールダウンスペースの確保。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	約児童2人に対して1人の職員配置で行っています。またその日の活動や児童の状態に応じて臨機応変に対応しています。	今後も安心安全に生活できるよう継続していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	バリアフリー化はしていませんが、支援が必要な児童等、必要に応じて対応しております。視覚優位の児童の為にイラストカードなど用いてわかりやすい環境を作るよう努めています。	今後も児童一人ひとりに合わせた対応を心がけます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	定期的に清掃を行い、清潔に過ごせるよう努めています。	ベランダで畑をしており、時々蟻が室内に入ってくる。カーテンレールが壊れているので日差しが強くなる時がある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	6	部屋が狭いため、個別に使用する場所がない。部屋のレイアウトを活用し、他児童が視界に入らないような工夫をしてクールダウンをしてもらっています。	必要に応じて、他部署の部屋を活用できるよう調整をしていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	個別支援計画作成時や保護者との面談・相談があった場合は、その旨を全職員に周知し、支援に乖離が無いよう努めています。	今後も職員全員で同一の支援ができるように努めます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	評価表を含め、日頃からご相談や意見をいただき、より良い支援提供ができるよう努めています。	ご意見をしっかり受け止め、保護者様にわかりやすい業務を心がけます。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	日頃から話し合いや、意見を出し合いながら、業務内容の向上に努めています。	今後も施設内での意見交換を行いながら、より良い業務提供ができるよう心がけます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	11	外部評価・第三者委員会は設置に至っておりませんが、他部署との情報・意見交換を定期的に行っています。	必要に応じて外部評価を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	必要に応じて外部研修を受ける機会を提供しています。また全職員に対し毎月法定研修を受けてもらい、専門性の向上を図っています。	今後も毎月の研修は継続して行い、必要に応じて外部研修の受講を検討します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	1人ひとりの児童の特性に合わせ、保護者のニーズや願いを聞きながら、本施設で出来る支援プログラムの提供に努めています。ホームページにも掲載しています。	今後も継続して実施します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	11	0	1人ひとりの児童の特性に合わせ、保護者のニーズや願いを聞きながら、本施設で出来る支援プログラムの提供に努めています。	今後も継続して実施します。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	立てられた計画は全職員に周知し、認識の乖離が無いよう努めています。	今後も支援にかかわる職員が、その支援に対し共通の認識を持って支援できるよう心がけていきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	立てられた計画は全職員に周知し、認識の乖離が無いよう努めています。	今後も支援にかかわる職員が、その支援に対し共通の認識を持って支援できるよう心がけていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	年に2回アセスメントを行い、日々の支援計画につなげたり、利用送迎時にその日の活動の様子を伝え情報交換・共有しています。	今後も継続して実施します。

## 適切な支援の提供

16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	定期的にアセスメントを行い、本人・保護者のニーズに沿った個別の支援を作成しています。	今後も継続して実施します。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	曜日ごとのプログラムは固定化されているが、その日その日の活動内容がマンネリ化しないよう、職員間で相談し新しい意見を出し合っています。	今後も継続して実施します。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0		今後も継続して実施します。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	11	0	こどもの発達状況・段階に沿って個別・集団活動ごとの支援計画を作成しています。	今後も継続して実施します。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎日その活動スケジュールを記載したノートを準備し、全職員にその日の支援内容を確認してもらっています。	今後も継続して実施します。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	送迎時の連絡事項や特筆事項がある際には、SNSなどで連絡事項を共有したり、必要に応じて話す機会を設けています。	今後も継続して実施します。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日連絡帳で保護者と共有する記録を作成するとともに、施設内での出来事・特筆事項は別に記録をして確認できるようにしています。	今後も継続して実施します。
23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	定期的なモニタリングや、日々の活動の記録等をもとに適宜見直しを行っています。	今後も継続して実施します。

	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11	0	ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を心がけています。	今後も継続して実施します。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	プログラム外の時間は自由時間を設けており、個人活動をしたり、他者と交流したりと自主性を尊重した支援を提供しています。	今後も継続して実施します。
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	全職員一人ひとりの情報を常に共有しておりますが、会議等開催・出席する前には改めて施設内で情報を出し合う機会を設けています。	今後も継続して実施します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	緊急時の連絡先や、主治医については契約時に確認、またツールなども準備しています。	今後も各関係機関との連携体制を整えていきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	11		今後、必要に応じて機会を設けていきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	11		必要に応じて機会を設けていきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	年に2回アセスメントを行い、日々の支援計画につなげたり、利用送迎時にその日の活動の様子を伝え情報交換・共有しています。	今後も継続して実施します。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		今後、必要に応じて機会を設けていきます。
	32	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				

保護者との連携	33	【 <b>児童事業所・児童センターのみ</b> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【 <b>児童センターのみ</b> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 <b>児童センターのみ</b> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 <b>児童センターのみ</b> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 <b>放デイのみ</b> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	11	0	行事予定や下校時間などは基本保護者から共有いただいております。必要であれば学校との情報共有も行います。	
	38	【 <b>放デイのみ</b> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	7		今後必要に応じて保護者や相談支援員を通じて情報共有を行います。
	39	【 <b>放デイのみ</b> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3	卒業後の進路先から連絡があった際にはお伝えするようにしています。	
	40	【 <b>放デイのみ</b> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	11		今後必要であれば参加します。
41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時に丁寧な説明を心がけています。	今後わかりやすく丁寧に説明を心がけます。	

保護者への説明等	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	こどもの日々の活動の記録や保護者とのモニタリングや必要に応じて聞き取りを重ね、最善の支援計画が作成できるように行っています。	今後も継続して実施します。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	作成した個別支援計画をしっかりと確認していただき、疑問点等ある時は何度も話し合いを重ね同意をいただいています。	今後も継続して実施します。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	年に2回家庭の情報を聞き取り、必要や希望に応じて面談や相談の場を提供しています。	今後も継続して実施します。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	11		必要に応じて実施します。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	各相談や、問題についての問い合わせがあった場合はマニュアルに沿って対応し、件について全職員に周知しています。	今後もしっかりした対応を心がけます。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月の広報やインスタグラムを活用し、活動の様子を発信しています。	今後も継続して実施します。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	全職員に研修を受けていただき、個人情報について学んでもらっています。	送迎時などの出先で個人情報の資料等を預かった時には、グループラインで共有します。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	その子供に合う対応の仕方で個性を図っています。また日々連絡帳や必要に応じてSNSなどでコミュニケーションを行います。	必要に応じ改善し、最良化を目指します。
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3	事業所に招く行事は実施していないが、ダンスプログラムの発表会出演の等を広く広報し、地域との交流を目指しています。	今後も必要に応じて実施します。	

	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	聞き取りを行い、施設内で協議をしたり、関係機関と情報共有を行いながら、できることを一緒に模索するよう心がけています。	今後も必要に応じて実施します。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各マニュアルについては策定しており、防災訓練は年に1回以上、様々な災害を想定し実施しています。	防災・避難訓練の様子や実施状況を報告、周知していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	行っています。業務継続計画に変更が生じた時は、その都度変更しています。	今後も引き続き実施します。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	利用契約時に確認を行い把握すると共に、その後の変化についての連絡があり次第変更、各職員への周知を行っています。	今後も引き続き実施します。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	利用契約時に確認を行い把握すると共に、その後の変化についての連絡があり次第変更、各職員への周知を行っています。	今後も引き続き実施します。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	感染症や急な事故・対応が必要な場合の研修を全職員が受講しています。	今後も継続して実施していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	面談や契約時に説明を行ったり、事業所の部屋を見ていただいたり等して周知しています。	今後も実施していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハットや事故報告書の必要に応じて作成し、今後の対応の話し合いや、再発防止に向けた対応を共有しています。	今後も継続して実施していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	毎年虐待防止研修を実施し、適切な支援。対応ができるよう機会を全職員に提供しています。	今後も継続して実施していきます。

	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	今年度まではやむを得ない身体拘束を実施する可能性のある児童については保護者に十分に説明を行い、了解を得た上で同意書を作成していました。	個別支援計画の書式変更に伴い、必要に応じて身体拘束についても記載していきます。
--	----	--	----	---	---	---